

戸田市 若手保育士交流会 実施報告

経緯・目的

★市内若手保育士の横のつながり強化

平成30年8月に始動した「とだの保育創造プロジェクト会議」の中で、市内の若手保育士の交流機会の充実を図る取り組みとして、開催しました。市内研修会においても階層別の研修を実施する予定であり、この交流会は、市内保育関係者の横のつながりの導入の機会になるものです。

★若手保育士の保育の魅力アップを目指しています。

様々な園で働く同世代の保育士と語り合い、日々の悩みや他園の取組等を共有することで、改めて自園の良さに気付き、自分の仕事を見つめ直し、若手保育士のモチベーションを高め、より質の高い保育を実現していくための交流の機会になることを目指すものです。

【若手保育士交流会の開催概要】

開催日時:平成31年3月18日 14時～17時頃 場所:戸田市文化会館5 階 多目的ルーム A
対象:市内保育園在勤の保育士(主に勤務年数4年目までの若手保育士)
参加者:19名(5グループ)

第1部・開催結果

“まあせんせい”による特別授業!

男性保育士の先駆者で TV「情熱大陸」に出演、雑誌の執筆の他に、全国の保育士会・幼稚園協会の実技講師として年間 100 本を超える講演や親子コンサートでご活躍されている“まあせんせい”こと菊地政隆さんをお迎えして手遊びや歌も交えながらご講演頂きました。

まあせんせいプロフィール

菊地 政隆 氏
学校法人袋山学園 理事長
認定こども園しらこぼと幼稚園 園長
静岡第一テレビ歌のお兄さん
保育士として9年勤めたのち、保育園園長として10年勤め退任。平成29年4月より埼玉県越谷市内の幼稚園(現在は認定こども園)園長就任。
また、複数の保育養成学校の客員准教授などを兼任している。



出典:まあ先生公式 Web サイト



「とある1日の出来事です。」

「おもちゃを片付けない子がいます、皆さんならどうしますか？」など、保育士なら誰もが体験するような出来事をまあせんせいの実体験を交えつつユーモア溢れる話をしていただきました。その中で、普段とは違う観点から大切なことや子どもとどう関わっていくかなどを改めて考える機会となりました。

「遊んでいるだけの仕事ではない、保育士は職人だ」

保育に、答えはなく「その子と向き合って、その子に適切な答えを作っていくのが保育であり、一人ひとりにあわせて答えを変えていけるのが保育士の職人芸」と専門職としての保育の仕事であり、そこに在る保育士はプロである ことや保育の魅力に気づいてほしい。と参加者もまあせんせいの言葉に励まされていました。

「保育が好きだから、長くやれた」

先生も子どもと一緒にいっぱい遊ぶことの大切さや、まあせんせい自身が若手時代に悩んだことや乗り越えた時に気づいたことなど、参加者に熱い思いを伝えていました。

参加者の感想

- ・子どもとどう向き合うべきか、まあせんせいの体験談から考えさせられた
- ・保育を楽しむことで子どもにも伝わり良い保育になるのだなと感じた
- ・手遊び等も楽しく学べてよかった
- ・同じ男性保育士として悩みが共有できた
- ・考える保育者になりたいと感じた
- ・楽しい保育を実現するための引き出しが出来た
- ・経営者、保育者、園長の視点から悩みを聞くことが出来てよかった。
- ・『保育士は職人』という言葉が、保育の仕事を誇りに思えるきっかけになった など



第2部 ワークショップ ～わたしの保育・魅力アップ！

これまでの経験や現在の悩み、理想の保育などについて、同世代の保育士同士で語り合うことで、「わたしの保育」を見つめ直し、よりよい保育へのヒントを得るためのワークショップを開催しました。

◆ワークショップ1:「わたしの保育」を振り返ろう

<15分×2回 席替えをして、いろいろな人と話しました！>

これまでの経験で嬉しかったことや困ったこと、他園に聞いてみたいことなどを「振り返りカード」に記入し、自己紹介もしつつ語り合いました。園の垣根を越えて、それぞれ悩みを共有したり、アドバイスをもらったりする機会となりました。

「今、悩んでいること」

先輩やパート・派遣職員との意見の相違、来年度から新たな役割・担当に変わることへの不安、子どもとの関わり方、言う事を聞いてくれない子どもへの対応、など。



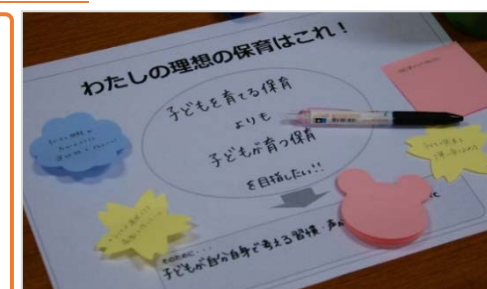
◆ワークショップ2:「わたしの保育」の理想を語ろう～「わたしの保育」〇〇アップ!

「〇〇な保育をしていきたい!」「〇〇を頑張りたい!」など、自分の保育の理想像を再認識。さらに、その目標に向けて自分自身が取り組んでいきたいことなどを「理想像カード」に書き込んで、グループで発表しました。

聞き手は、それを叶えるために必要と思ったことを発表者のカードに付箋を貼ることで、応援するとともにアドバイスになりました!

「わたしの理想の保育は、これ!」

子どもが楽しい保育や、子どもが自分で伸びていくことができる保育、保育園が大好き、第2の家のように思ってもらえる保育にしたい、子どもが楽しめるよう常に笑顔で余裕を持つ、など。



◆ワークショップ3:とだの仲間とこんなことしてみたい!

とだの仲間と一緒にチャレンジしたいことなど思いつくものを、グループごとにアイデアを出しました。 ※実際に出たアイデアは、別紙をご覧ください!

「保育の質の向上」

職員対抗スポーツ大会等で交流の機会や場を作ることや、保育士専用のサイトを開設したり、他園での1日保育体験や遊び研究会を情報交換やスキル共有開催してはどうかといったアイデアが出ました。

「交流したい!」

各園の子ども・保護者が交流する機会として、園対抗スポーツ大会の開催、親子イベント等をきっかけに職員同士が交流するなどのアイデアも出ました。



参加者の感想

- ・同じ悩みを持っている先生がいて、不安が軽くなった
- ・先輩の悩みに寄り添い共に成長していきたいと思った
- ・自分の中の理想の保育、目指していることを再確認できて良かった
- ・他の先生の理想の保育でも良いと思うものが沢山あった
- ・悩みや楽しさを言葉にすることで、抱えていたモヤモヤが少しすっきりした
- ・保育について語れる場は意外と少ないので、貴重な機会だった
- ・横の繋がりを大切にして楽しい保育が出来ると良いと思った
- ・みんな、情報共有や意見交換の場を求めていることが分かったなど

【成果・課題】

アンケート回答者18名中16名が「とても有意義だった」、2名が「有意義だった」と回答しており、高い満足度が得られ、自分の保育を見つめ直す貴重な機会であったと感じます。また、同世代の保育士との繋がりが醸成のきっかけとなりました。今後の課題は、市内研修等の活用した交流機会の拡大、交流を深化させ、質の向上に繋げていく取組の具体化等が挙げられます。

まあせんせいによる講師

物事は、言葉に出さなければ実現しません。今日一人ひとりが考えて形にしたことで、きっと実現できるのではないのでしょうか。

保育士の交流はとても大事だと思います。また、ここまで様々な取り組みをしている自治体は少ないと思います。是非、今日をきっかけに今後もたくさん交流をして、戸田市の保育がもっと良くなるよう頑張ってください。

最後に、私の原点は、過去に、保育が誰のためにあるのかを忘れ、自分の都合で仕事を投げ出してしまったことです。仕事である以上辛いことも必ずあると思いますが、子どもたちを幸せにするのがミッションです。楽しんで、頑張ってください。